

京阪神スタートアップ調査

アンケート結果報告書

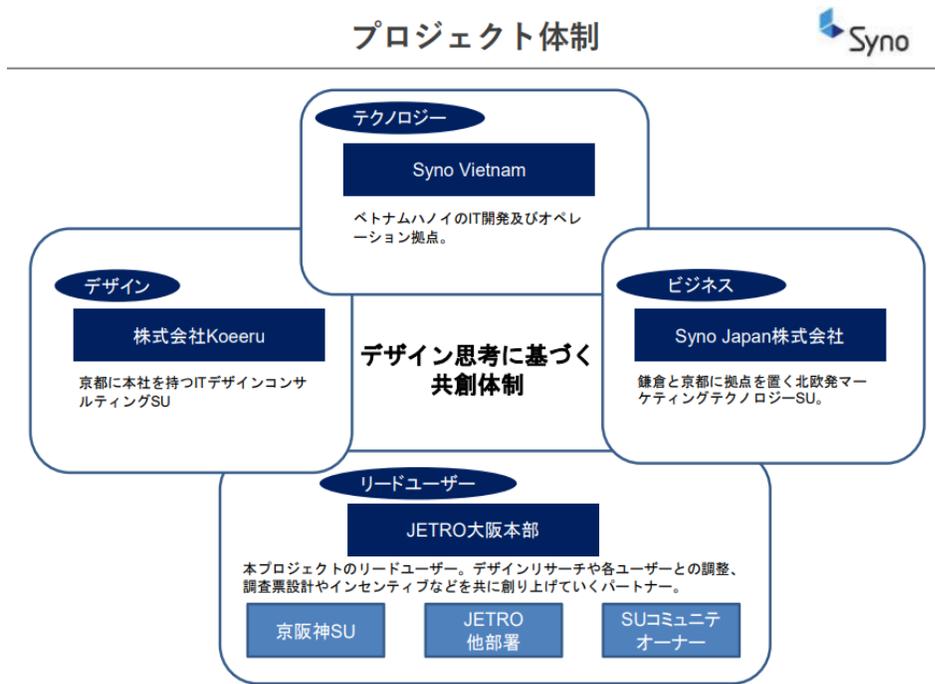
調査の背景と目的

■ 背景と目的

- ✓ 大阪・京都・ひょうご神戸（以下、京阪神）は、「スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略（2019年6月）」において拠点都市に選定されており、その経済規模や大学・研究機関の集積を活かしながら、各都市がスタートアップエコシステム構築に取り組んでいる。
- ✓ スタートアップが望むより充実したエコシステムの構築に向け、ジェトロ大阪本部、京都事務所、神戸事務所および京阪神のコンソーシアム事務局や支援機関、キーパーソンなどと連携し、京阪神のスタートアップ企業数、実態、海外事業展開に関する実情や要望、スタートアップエコシステムの利用実態・要望等を客観的な情報として把握するアンケート調査を実施した。

調査体制と進め方

- 本調査はJETRO大阪・京都・神戸と委託先Syno Japan株式会社とのプロジェクトとして実施
- 本調査に賛同いただけるコンソーシアムメンバー、SUコミュニティオーナー、SU企業オーナーにもアンケート回答依頼の協力をいただいた。
- 協力いただくコミュニティオーナー、および実際に支援を利用いただいたことがあるSU企業様に対するインタビューを行い、現状と課題を把握（11月～12月中旬）、インタビュー結果を反映して調査票を完成させ、アンケートを開始
- SNSやPR TIMESによる回答誘導も行き、実査を2月末に完了



JETRO 京阪神スタートアップ調査

あなたのビジネスを Boost-up!

回答するとこんなメリット!

- あなたの意見が「京阪神スタートアップエコシステム」に反映される!
- あなたに必要な支援機関やコミュニティとつながり、ビジネスを Boost-up!
- 調査レポートに加え参加者特典もゲット!

先が見えないVUCAの時代、新たなビジネスを創り出すスタートアップへの期待は、世界中で高まっています。スタートアップが成長するためには、エコシステムの充実が欠かせません。京阪神地域も、現在多くの企業や支援機関がスタートアップに対する様々なサポートを打ち出し、エコシステムを創り出しています。しかし、まだこれらのサービスは皆さまに広く認知されていない状況です。そこでJETRO(大阪・京都・神戸)は「スタートアップが進むエコシステム構築へ」また「世界を目指したいと考える企業が簡単ルートでグローバル化へ」を全力でサポートするため、これから創業される方を念頭にスタートアップの皆さまが抱える課題やニーズを広くお伺いし、本調査を実施します。

1. QRコード(またはリンク)から、アンケートにお答えください。
[QRコード] 参加者特典: 9分程度 | 調査URL: <https://collector.koeeru.com/surveys/Q2YPPF6JgV7lqngjg>
訪問の直後に、参加者特典のご希望をお知らせください。

2. 本調査が終了し、最終集計後(2022年3月予定)にご入力いただいたメールアドレスに特典のお知らせが届きます。

本調査は Syno Japan 株式会社とJETRO大阪本部に委託を受けて実施しております。本調査に係るお問い合わせは下記までご連絡ください。
Syno Japan 株式会社
所在地: 〒124-0011 東京都港区南1-8-1 602ビル3F
Email: inquiry_jetrobysynojapan (平日 10:00-17:00)

京阪神エリア スタートアップ企業様の声

OSAKA

世界共通の課題、補人利補域アクセシビリティの改善や新しい型枠を
株式会社ネクイ
取締役 海外事業部長 渡部 弘一 様

主サービス「スマルナ」は治療で悩む女性と医師をつなぐ国内最大級の補人利補域オンライン診療プラットフォームです。メンバーはJETROで情報を集め、ビジネスモデルを一層に考えていただきました。海外への進出、メンバー募集など、協力を求め、進捗の把握と進捗確認は、全体的に満足しています。本当に助かりました。
<https://nextinnovate-onc.com/jp/>

KOBE

「空飛ぶ車」で米国市場へ、アジア市場へのプロダクトを拡充
スカイリンクテクノロジーズ株式会社
代表取締役 藤本 善広 様

自動運転の旅客用航空機「空飛ぶクルマ」の事業を行っています。東日本大震災がきっかけで、今後日本で災害が起きた時に備えたいと、そして日本のためになるプロダクトを創りたいと考えました。2021年11月期のJETROアクセラレーションプログラムに参加し、海外進出の機会の提供をいただきました。本当に助かりました。
<https://www.skylink-tech.co.jp/>

KYOTO

日本の環境ビジネスをグローバルに展開中
AC Biode 株式会社
代表取締役 久保 直樹 様

世界初の独立型交流電流の積算、高圧ステックや炭のリサイクル事業などを展開しています。環境問題を解決するスタートアップはまだ日本では少なく、日本から環境ビジネスを盛り上げたいと考えています。JETROのサービスは海外展開しやすくなり、タイでも事業を行うことができました。より良いサポートが得られる機会をありがとうございました。
<https://www.acbiode.com/>

OSAKA

海外展開も視野に、今後は国内で日々成長
株式会社フタバ
CEO 大西 洋 様

製造業向けに目標設定業務の効率化を実現する画像認識コグニティブAIを開発しています。現在は国内が中心ですが、日本以外の市場も拡大する中で、スタートアップ企業が海外市場への事業展開を行うには難しいと思います。エコシステムに参画し、ぜひ将来の展開に必要なサービスを受けたいと思います。
<https://nutzper.com/>

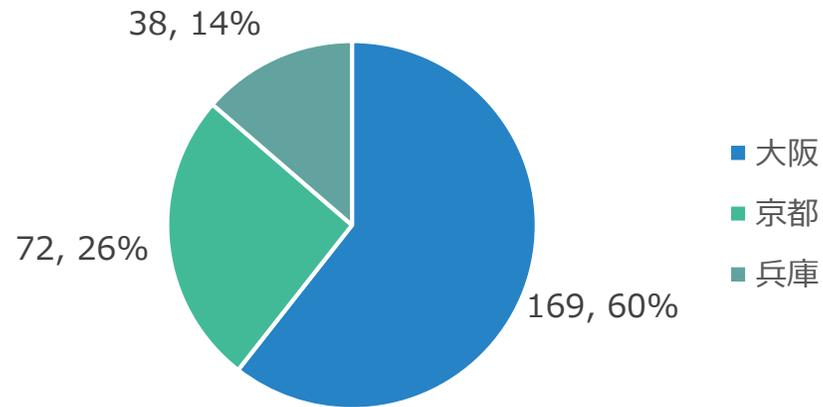
本調査の回答は、企業名を特定できない形で掲載いたします。
本調査結果は、2022年3月以降にJETRO日比谷のプレスリリースやセミナー・イベントなどでも報告する可能性があります。
本調査にご協力いただいた方には、ご所属により調査レポートを後日Eメールにて送らせていただくほか、特典もご利用いただけます。

ご質問にございましたら個人情報は「個人情報の取扱いに関する事項」および「個人情報の取扱い」の Syno Japan 株式会社、株式会社フタバ(フタバグループ)に必ずお読みください。以下はご質問に回答して掲載いたします。
本調査結果の取扱いに関するお問い合わせ先
調査実施期間: 2022年1月11日開始
[協力支援機関: 2022年1月11日開始]
大阪府産業 / 大阪イノベーションハブ (IOH)、
京都府産業創造部の後、神戸市、徳島県

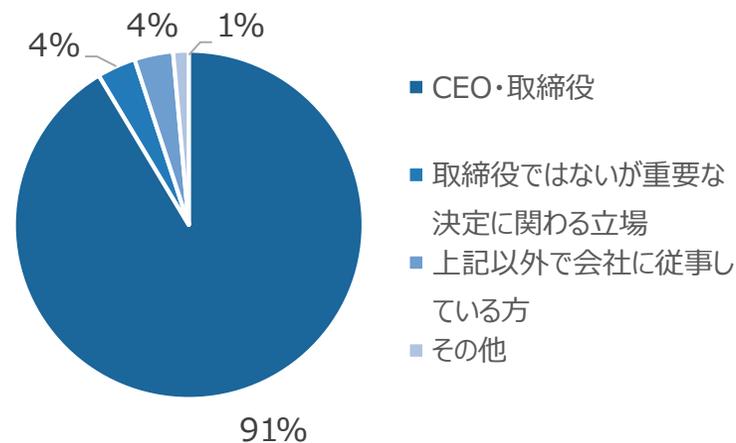
調査概要及び回答者のプロフィール

- 目的：京阪神スタートアップ（以下SU）の実態、海外展開に関する実情・要望、SUエコシステムコンソーシアムに関する利用実態・要望などを把握する。
- 対象：京阪神（京都・大阪・兵庫）に本社所在地があるスタートアップ企業 *創業予定含む
- 期間：2021年12月24日（金）*～2022年2月28日（月）*アンケートシステム稼働日
- 回答者プロフィール：
 - データクリーニング後の有効回答数は279件(注)、大阪169件60%、京都72件26%、兵庫38件14%
(注)：京阪神のSU数を700min-900maxと推定しており、回収率は30%min-40%maxと推定
 - 95%が経営上の意思決定者による回答
 - 年代は40代が最も多く34%、以下30代34%、20代30%、50代16%、60代以上12%と続く。10代が1名(表示は0%)

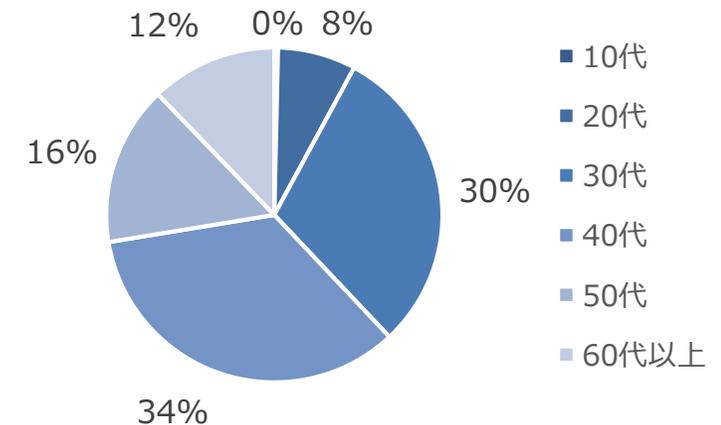
【本社所在地】 n=279:単一回答



【回答者の立場】 n=279:単一回答



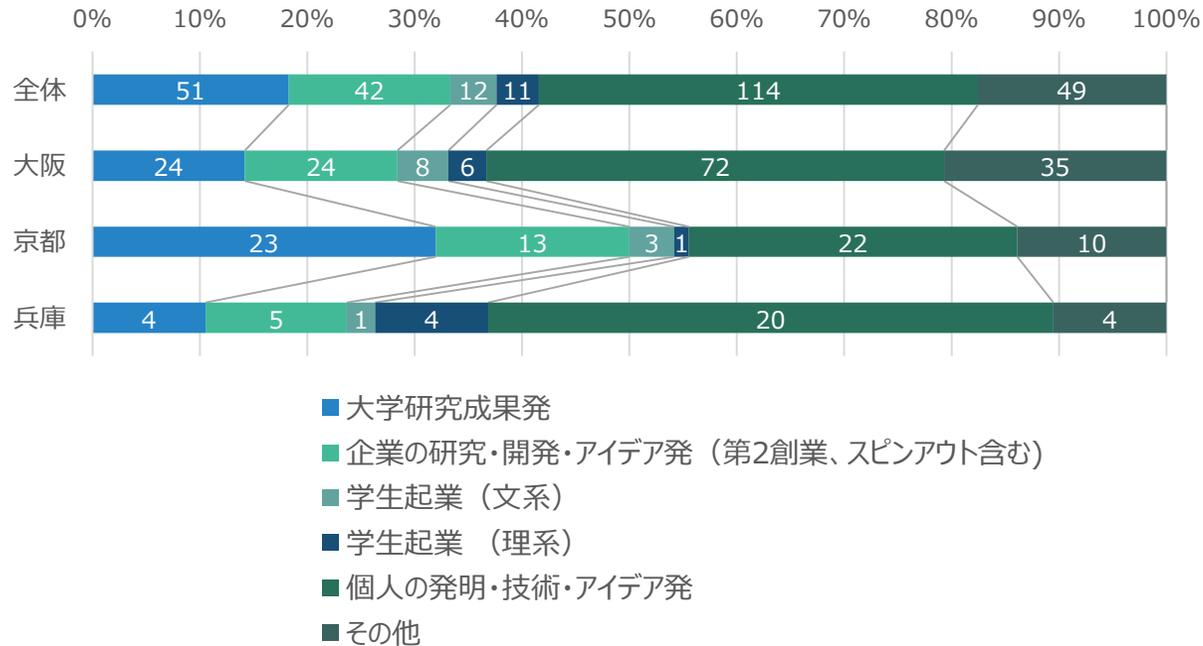
【経営者(代表)の年代】 n=279:単一回答



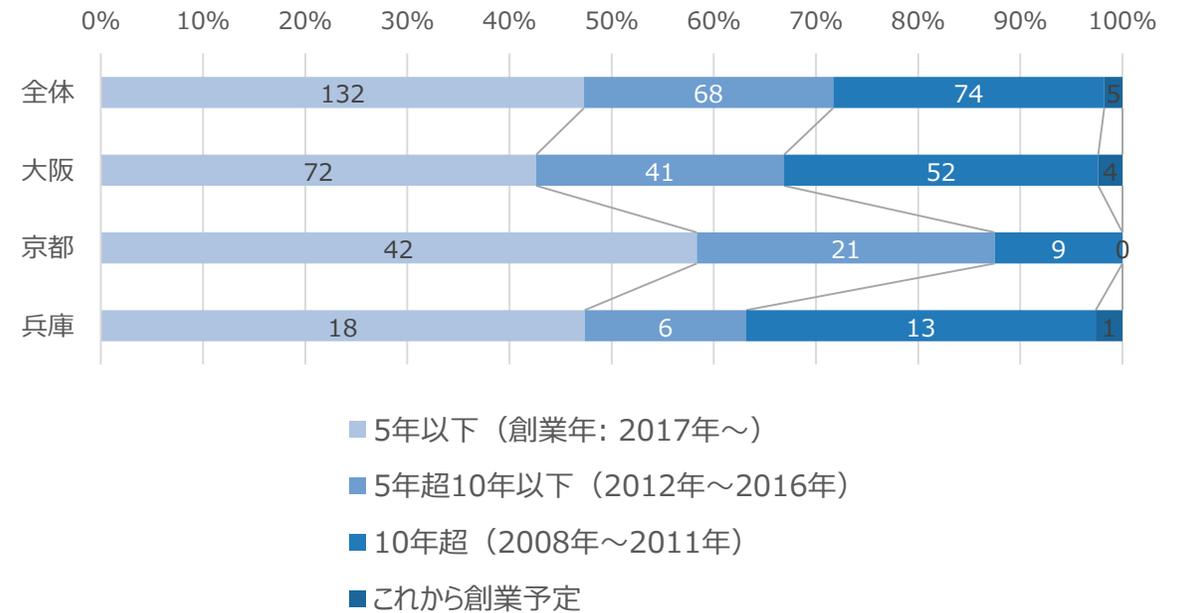
創業の経緯、業歴

- ▶ 創業の経緯は、全体(京阪神)では「個人発」が最も多く、「その他」を除くと「大学成果発」「企業の研究・開発・アイデア発」と続く。
- ▶ 大阪は全体と同傾向だが、京都は「大学成果発」が多い。 兵庫は母数に比し学生起業(理系)が多い。
- ▶ 「その他」の内容は、事業承継による第二創業、既存の事業で解決できない問題の事業化、副業、等
- ▶ 業歴は全体(京阪神)で最も多いのは「5年以下」、次いで「10年超」、「5年超10年以下」。京都のみ「5年超10年以下」が次点
- ▶ 「これから創業予定」が3エリアで5社

【創業の経緯】 n=279:単一回答



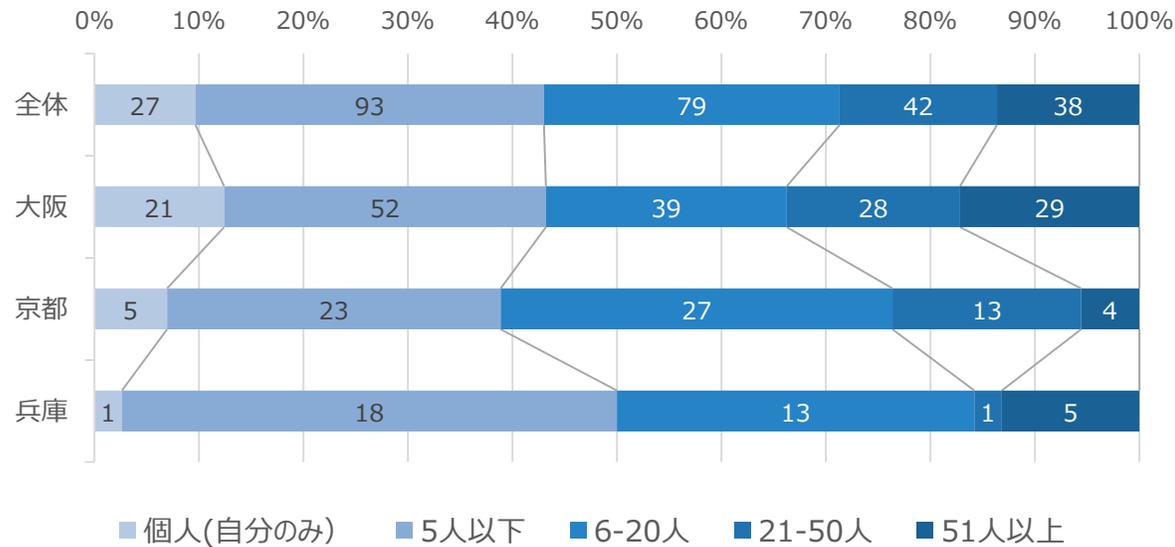
【業歴】 n=279:単一回答



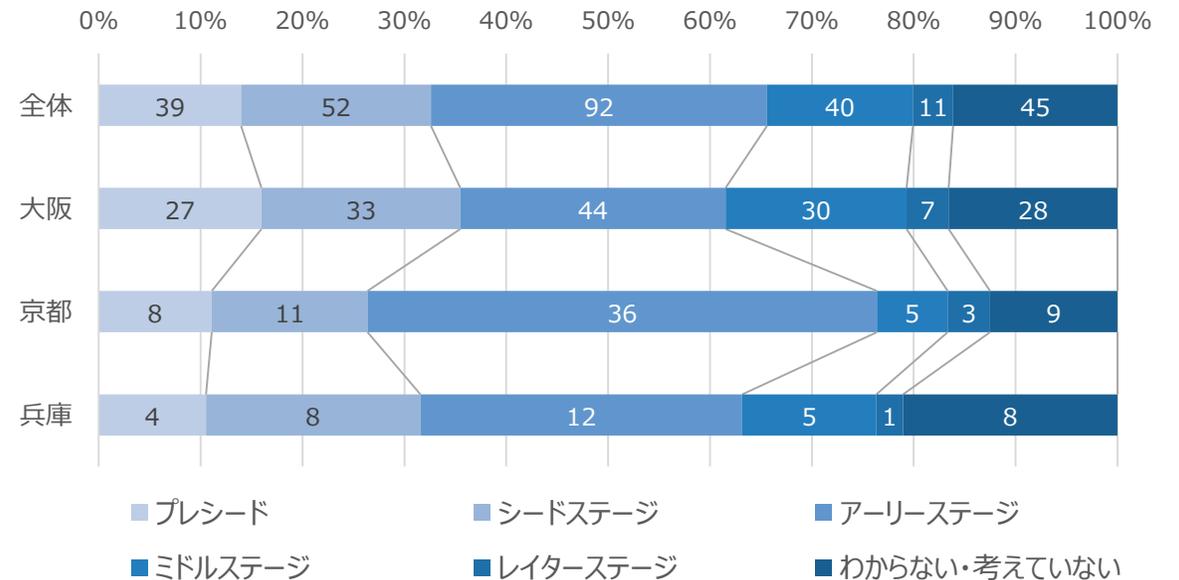
従業員数、現在のフェーズ

- ▶ 従業員数は、全体(京阪神)では「5人以下」が最も多く、「6-20人」「21-50人」「51人以上」と続く。
- ▶ 京都のみ最も多いのが「6-20人」で、次点が「5人以下」
- ▶ 現在のフェーズは、全体(京阪神)、および大阪、京都、兵庫すべて最も多いのが「アーリーステージ」で、次点が「シードステージ」
- ▶ 「わからない・考えていない」の回答業種は、土業、飲食、経営コンサルティング、イベント企画、教育関係、等

【従業員数】 n=279:単一回答



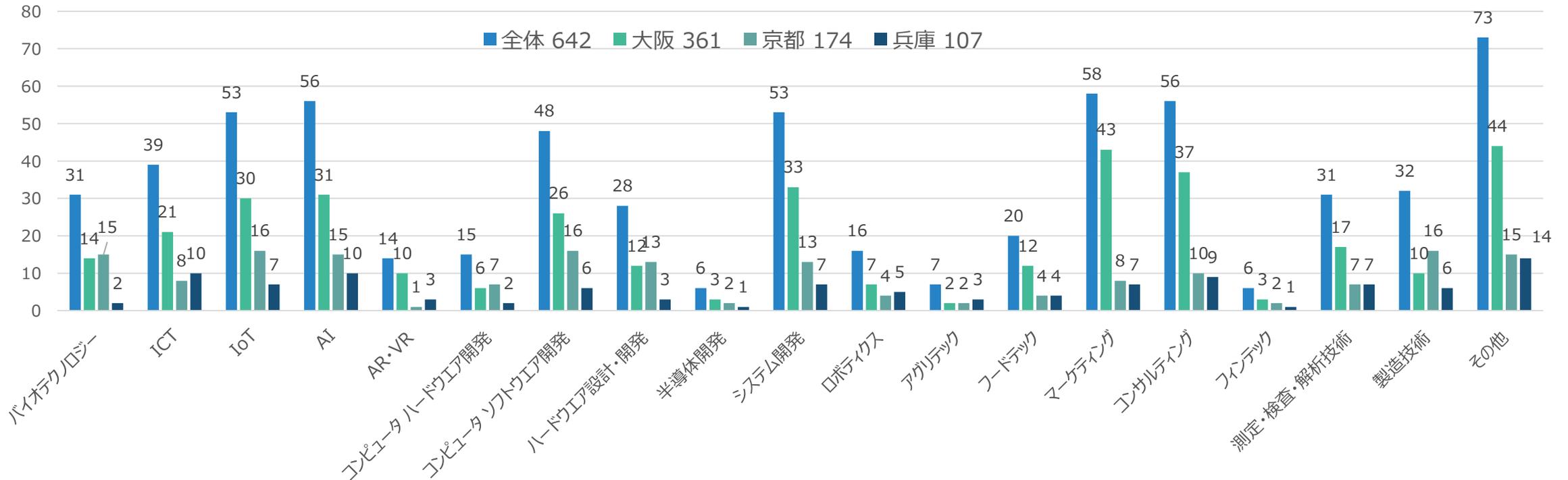
【現在のフェーズ】 n=279:単一回答



核となる技術・サービス

- 全体(京阪神)では「その他」を除くと、「マーケティング」「AI」「コンサルティング」「システム開発」「コンピュータソフトウェア開発」「IoT」が多い。
- 大阪は「マーケティング」「コンサルティング」が特に多く、「システム開発」「AI」「IoT」も多い。
- 京都は「IoT」「AI」「コンピュータソフトウェア開発」「製造技術」「バイオテクノロジー」が多い。
- 兵庫は「ICT」「AI」「コンサルティング」が多い。
- 「その他」は飲食、アパレル、医療、介護、整体、教育など、本回答の選択肢に記載の技術・サービスに直接関係しない企業

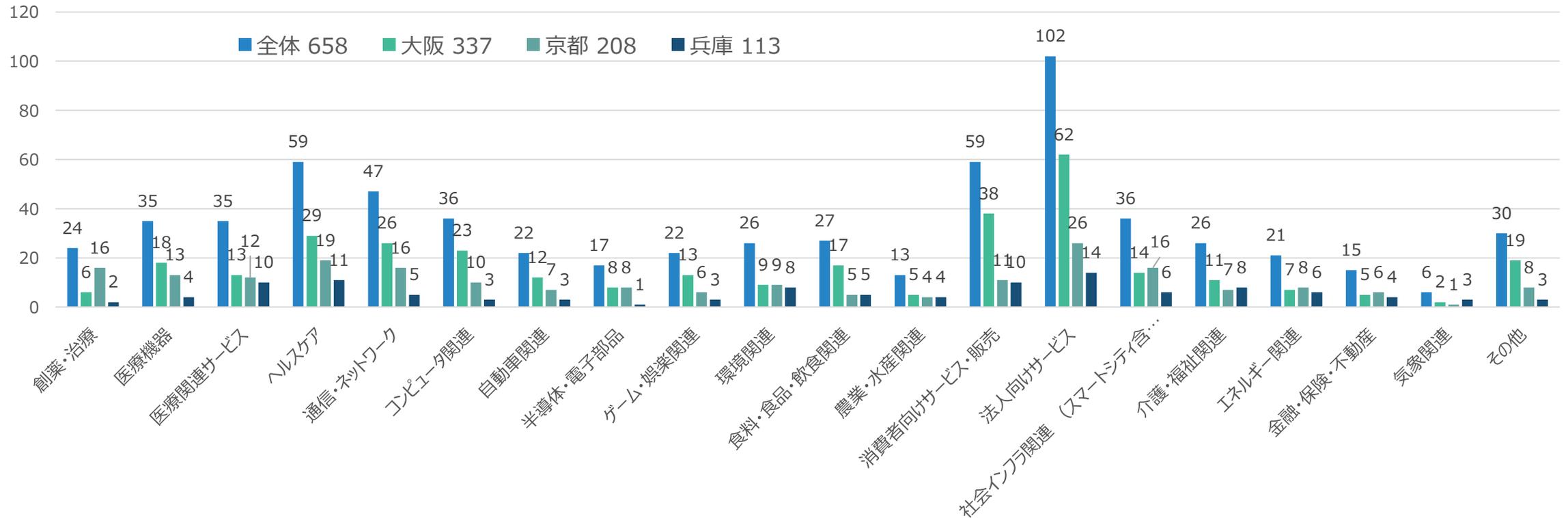
【核となる技術・サービス】 n=279、総回答数 642 (複数回答)



事業ドメイン

- 全体(京阪神)では「法人向けサービス」が最多で、以下「ヘルスケア」「消費者向けサービス・販売」が同程度で続く。
- 大阪は「法人向けサービス」「消費者向けサービス」が他より多い。
- 京都は「法人向けサービス」に次いで「創薬・治療」「ヘルスケア」「通信・ネットワーク」「社会インフラ関連」が多い。
- 兵庫は「法人向けサービス」「ヘルスケア」「医療関連サービス」「消費者向けサービス」が多い。

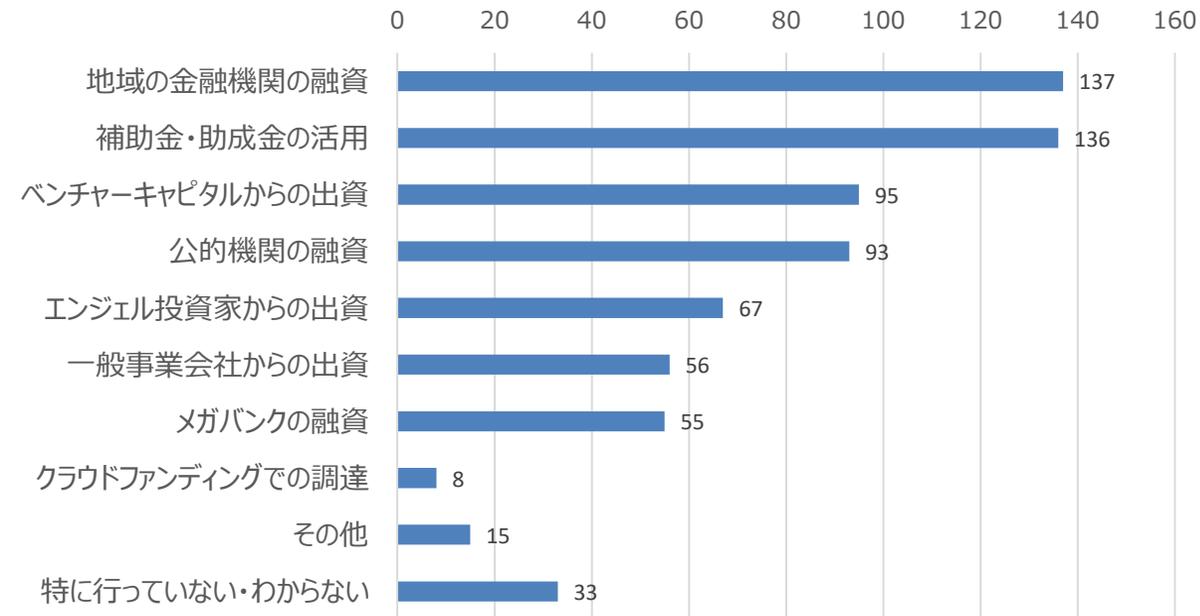
【事業ドメイン】n=279、総回答数 658 (複数回答)



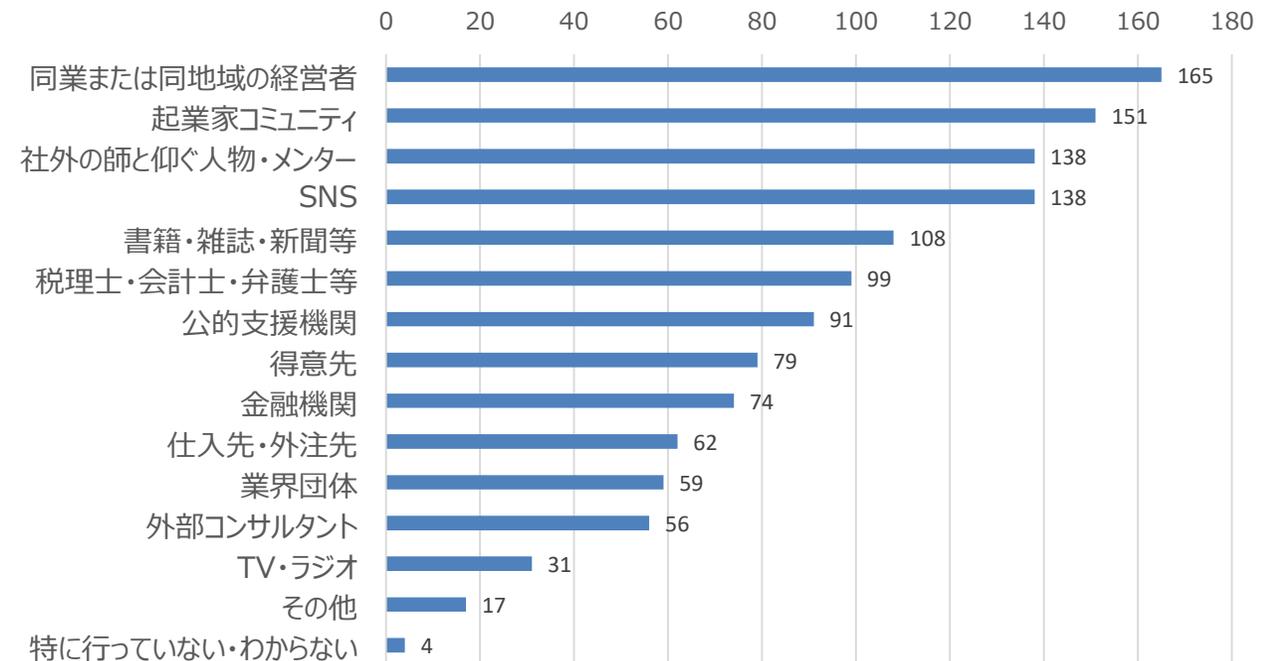
資金調達、情報収集

- 資金調達は「地域の金融機関融資」「補助金・助成金の活用」が同程度で最も多く、回答者の半数近くが利用
- 次いで「ベンチャーキャピタルからの出資」、「公的機関の融資」、「エンジェル投資家からの融資」と続く。
- 情報収集は「同業または同地域の経営者」が最も多く、「起業家コミュニティ」が次点で回答者の半数以上
- 「社外の師と仰ぐ人物・メンター」「SNS」と続き、ネット上を含めて個人レベルのつながりが上位グループを占める。

【資金調達の方法】 n=279:複数回答



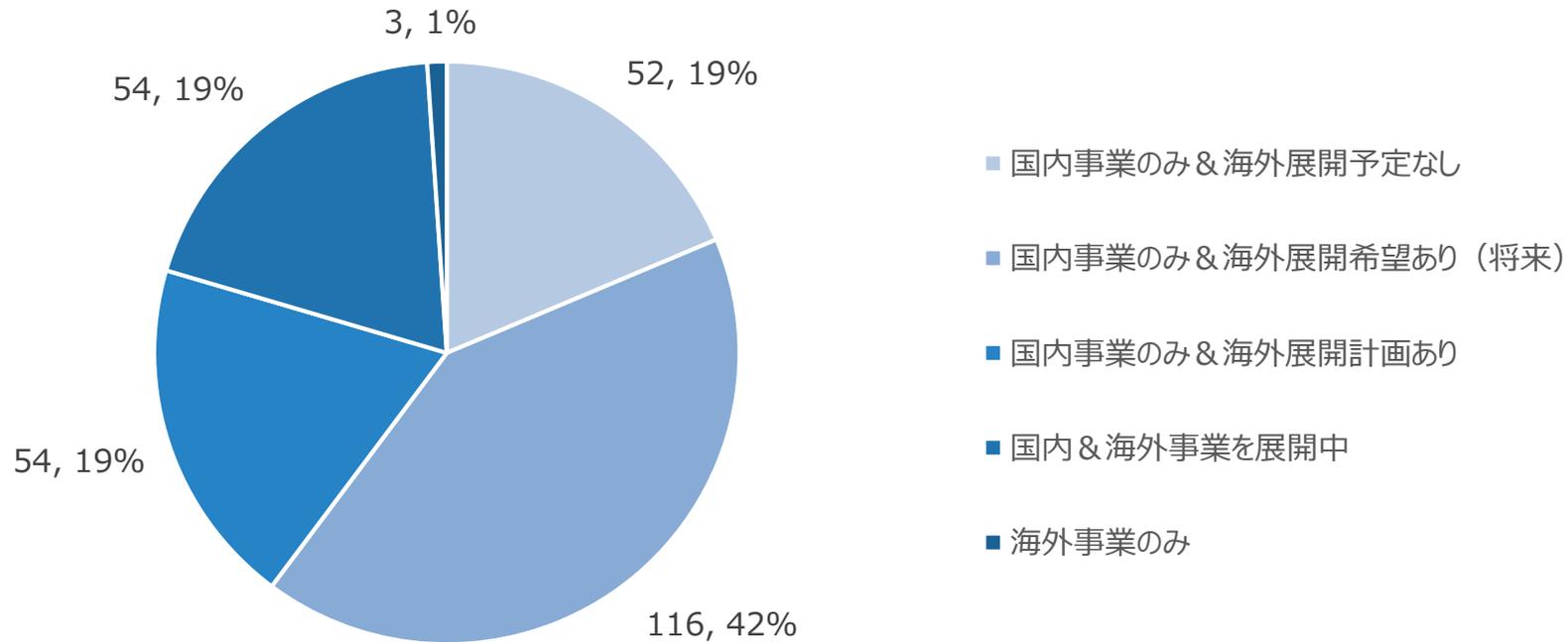
【情報収集の方法】 n=279:複数回答



海外展開・グローバル志向：現在の事業展開

- 「国内事業のみ&海外展開希望あり」が最も多く116件42%
- 「国内のみ」「国内事業のみ&海外展開計画あり」「国内&海外事業を展開中」が同程度で54件19%、「海外事業のみ」は3件1%
- 「国内のみ」と「海外事業展開中」がほぼ同程度の約20%、残りの約60%が「計画中&希望あり」が京阪神の全体像
- 全体の81%が何らかの形で海外事業に関わる/関わりたいと回答している。

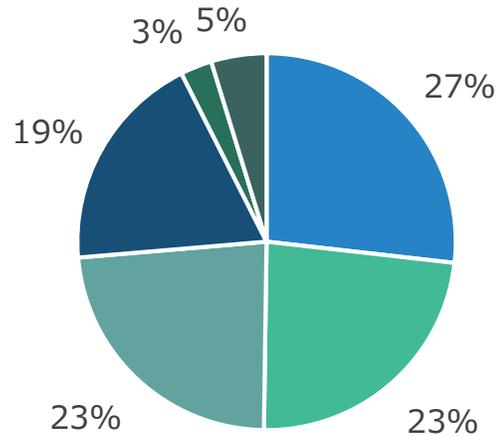
【事業展開状況】 n=279:単一回答



海外展開・グローバル志向：国内事業のみ展開中

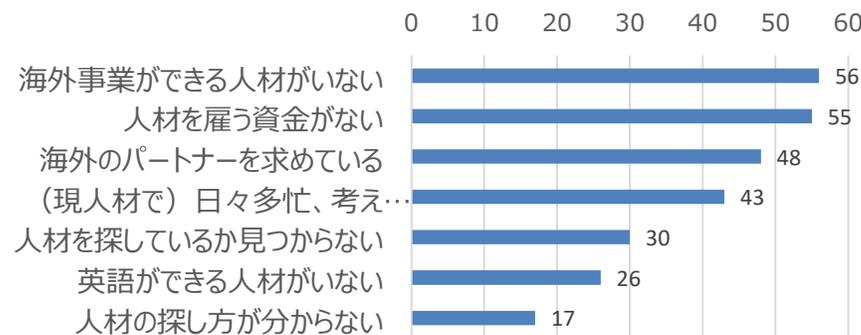
- 「国内事業のみ展開中」グループの課題は、「人」の問題が最も多く、「モノ」「お金」が同程度、「情報」の順。「その他」はコロナの影響、販売国での法整備等
- 「人」の問題は「海外事業ができる人材がいない」「人材を雇う資金がない」が同程度でトップ。「モノ」は「海外対応への開発・改善」、「お金」は「京阪神のVCが少ない」が、「情報」は「必要な海外情報（法規制等）がわからない」が最も多い。

【現状の課題】 n=222:複数回答

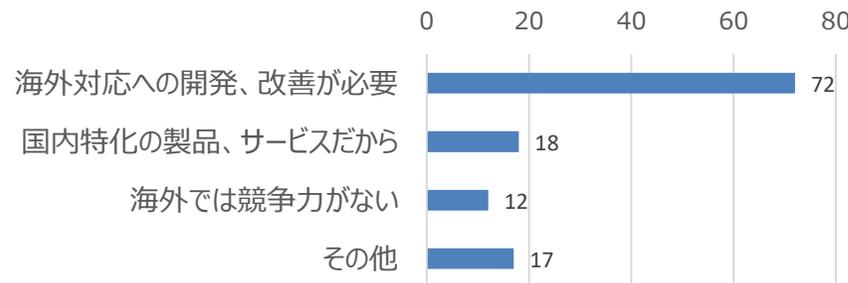


- 人の問題
- モノ (製品、サービス内容) の問題
- お金 (資金調達) の問題
- 情報の問題
- 当初から海外展開を考えていない
- その他

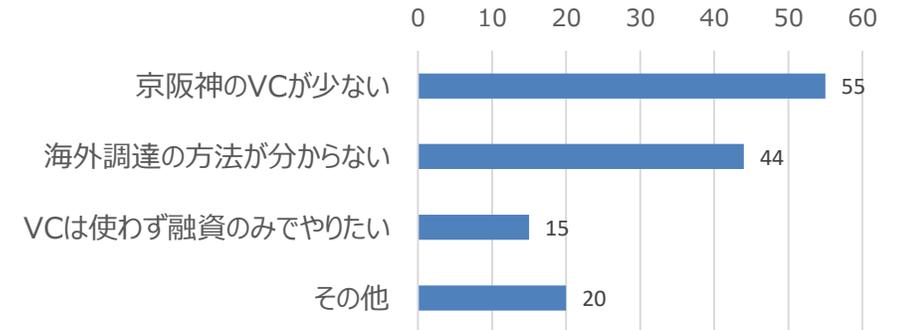
【人の問題】 n=119:複数回答



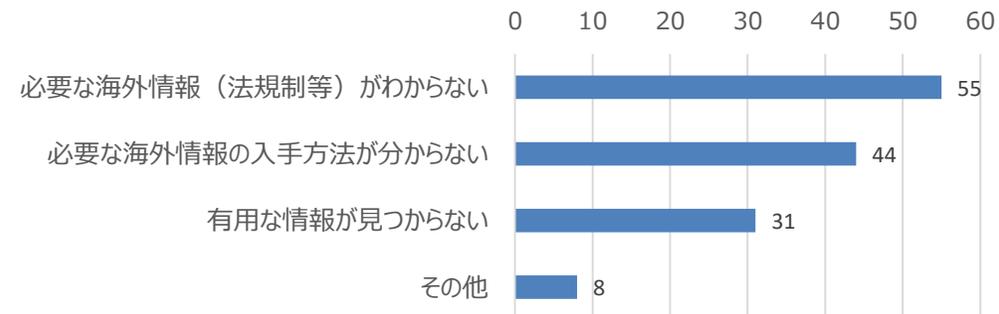
【モノの問題】 n=104:複数回答



【お金の問題】 n=104:複数回答



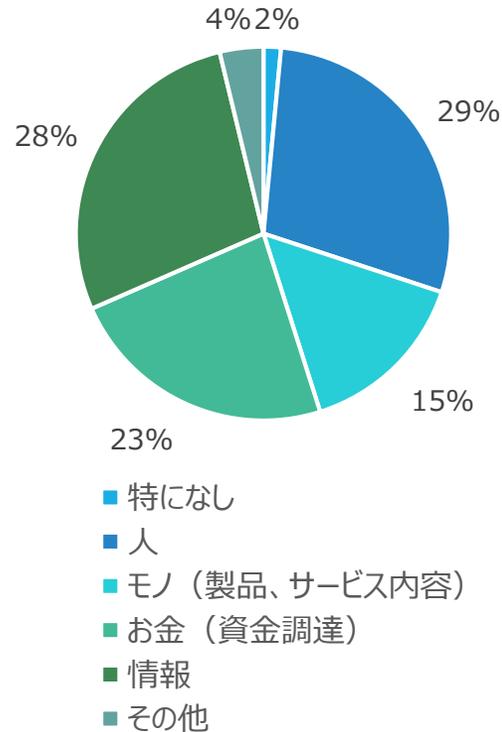
【情報の問題】 n=84:複数回答



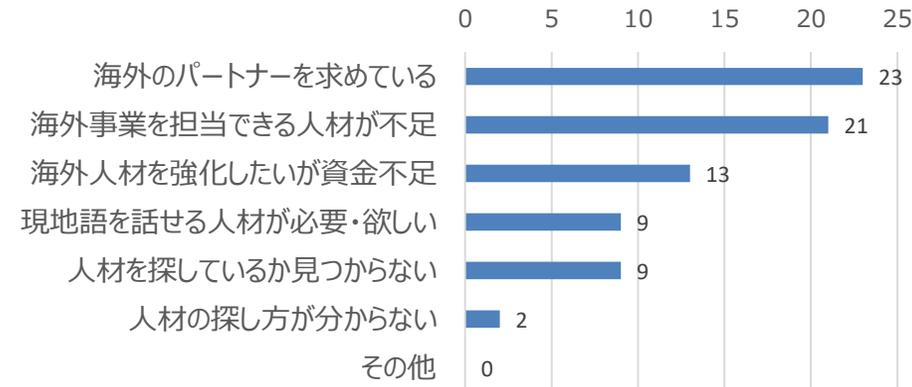
海外展開・グローバル志向：国内&海外事業を展開中

- ▶ 「国内&海外事業展開中」グループの課題も「人」の問題が最も多く、以下「情報」、「お金」。「その他」は契約関連、相手先の信用調査、顧客開拓、等
- ▶ 「人」の問題は「海外パートナーを求めている」が最も多く、「海外事業担当人材不足」が次点。「モノ」は「海外対応への更なる開発・改善」、「お金」は「京阪神のVCが少ない」、「情報」は「現地の市場情報が欲しい」が最も多い。

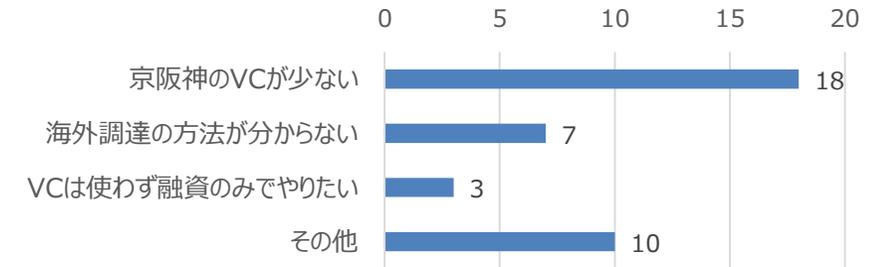
【現状の課題】 n=54:複数回答



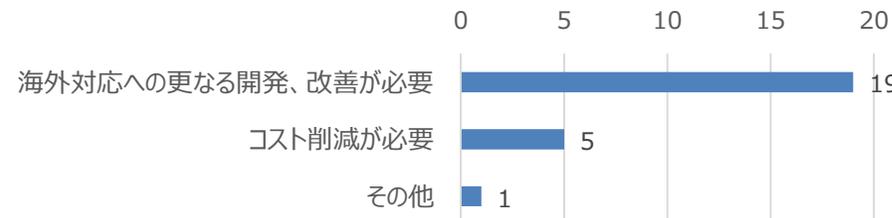
【人の問題】 n=38:複数回答



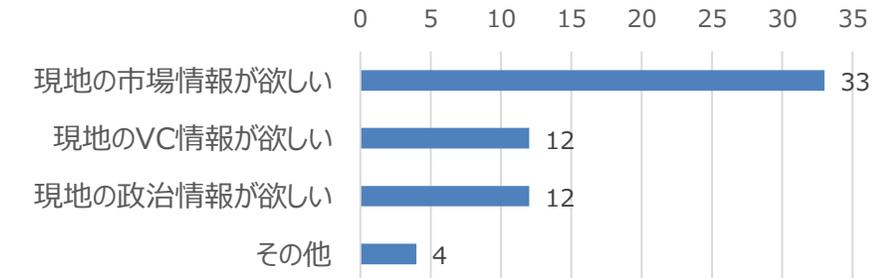
【お金の問題】 n=31:複数回答



【モノの問題】 n=20:複数回答



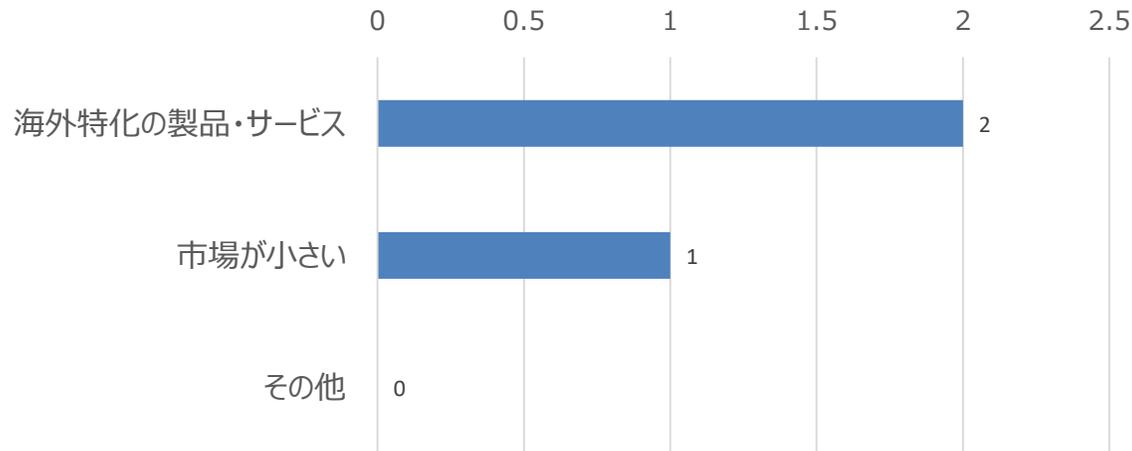
【情報の問題】 n=37:複数回答



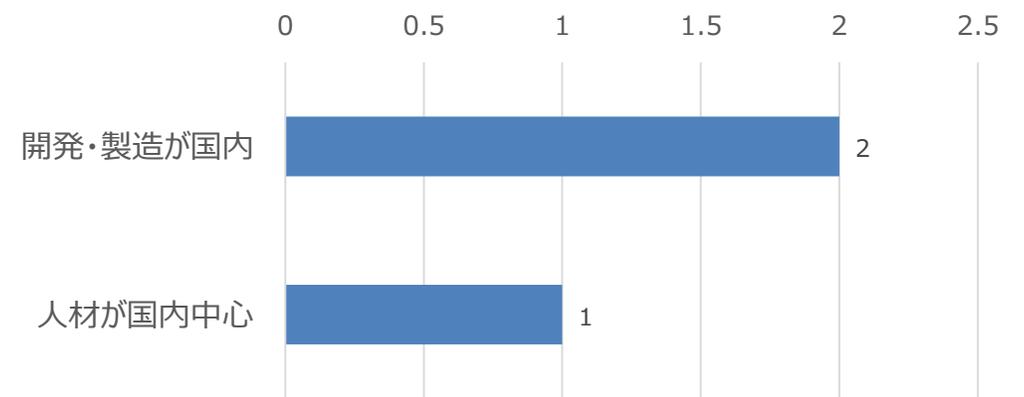
海外展開・グローバル志向：海外事業のみを展開中

- ▶ 「海外事業のみ展開中」グループは母数3と少ないが、「海外のみの理由」としては「海外特化の製品・サービス」、「(国内市場が小さい)」の回答
- ▶ 「本社を国内に置く理由」は「開発・製造が国内」、「人材が国内中心」に回答あり

【海外のみ理由・課題】 n=3:複数回答



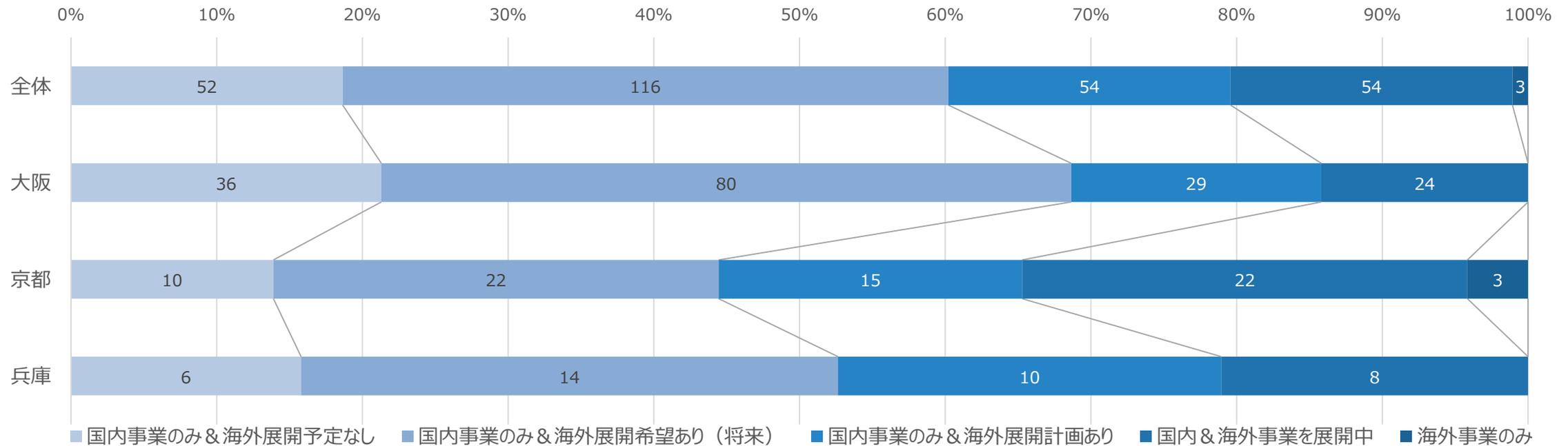
【本社を国内に置く理由】 n=3:複数回答



海外展開・グローバル志向：京阪神エリア別

- 全体(京阪神)の割合と比べると、大阪は「国内のみ&海外予定なし」「国内事業のみ&海外展開希望あり」の比率が69%と高く、「国内&海外事業を展開中」「国内事業のみ&海外展開計画あり」の比率が3地域中最も低い。
- 京都は「海外事業のみ」の3社を含め「国内&海外事業を展開中」も最も多く、「国内事業のみ&海外展開計画あり」含む比率は50%を超え最も高い。
- 兵庫も「国内&海外事業を展開中」「国内事業のみ&海外展開計画あり」の比率は50%近くあり2番目に高い。

【事業展開状況 X エリア別】 n=279:単一回答

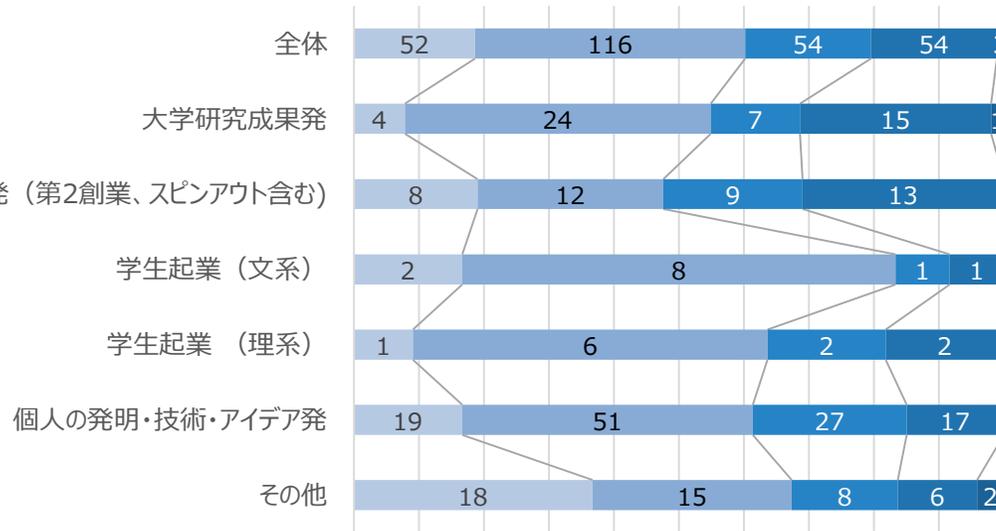


海外展開・グローバル志向：起業経緯、フェーズ別

- 「大学研究成果発」「企業の研究・開発・アイデア発」は、「国内&海外事業を展開中」「国内事業のみ&海外展開計画あり」の比率が高い。
- ステージが後になるほど「国内事業のみ&海外展開希望あり」が減り、「国内&海外事業を展開中」の割合が増えている。
- 現在のフェーズを「わからない・考えていない」は、「国内事業のみ」「国内事業のみ&海外展開希望あり」の割合が大きい。

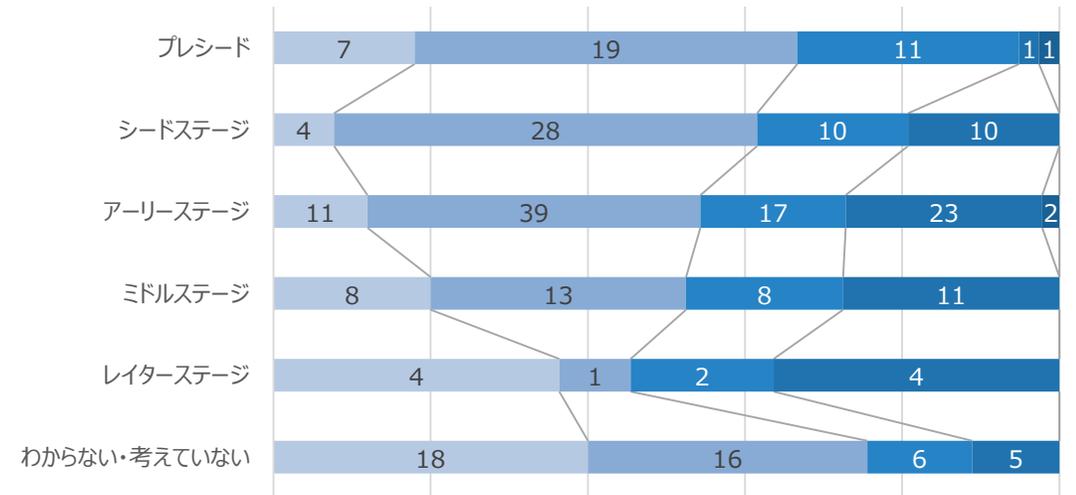
【事業展開状況 X 起業経緯】 n=279:単一回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



【事業展開状況 X 現在のフェーズ】 n=279:単一回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 国内事業のみ
■ 国内事業のみ&海外展開計画あり
■ 海外事業のみ

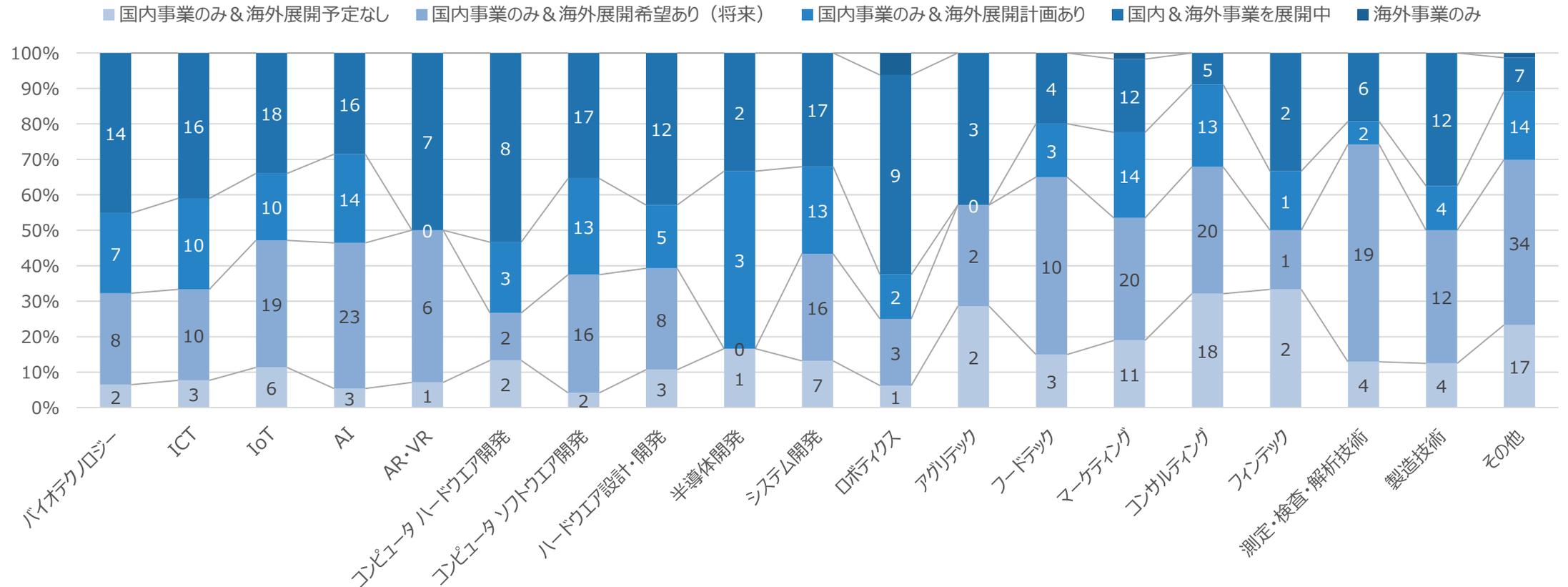
■ 国内事業のみ&海外展開希望あり
■ 国内&海外事業を展開中

■ 国内事業のみ
■ 国内事業のみ&海外展開計画あり
■ 国内&海外事業を展開中
■ 海外事業のみ

海外展開・グローバル志向：核となる技術・サービス別

- ▶ 「国内&海外を展開中」「海外のみ」の割合が多いのは「ロボティクス」「コンピュータハードウェア開発」「AR・VR」「アグリテック」「バイオテクノロジー」「ICT」（あわせて40%以上）

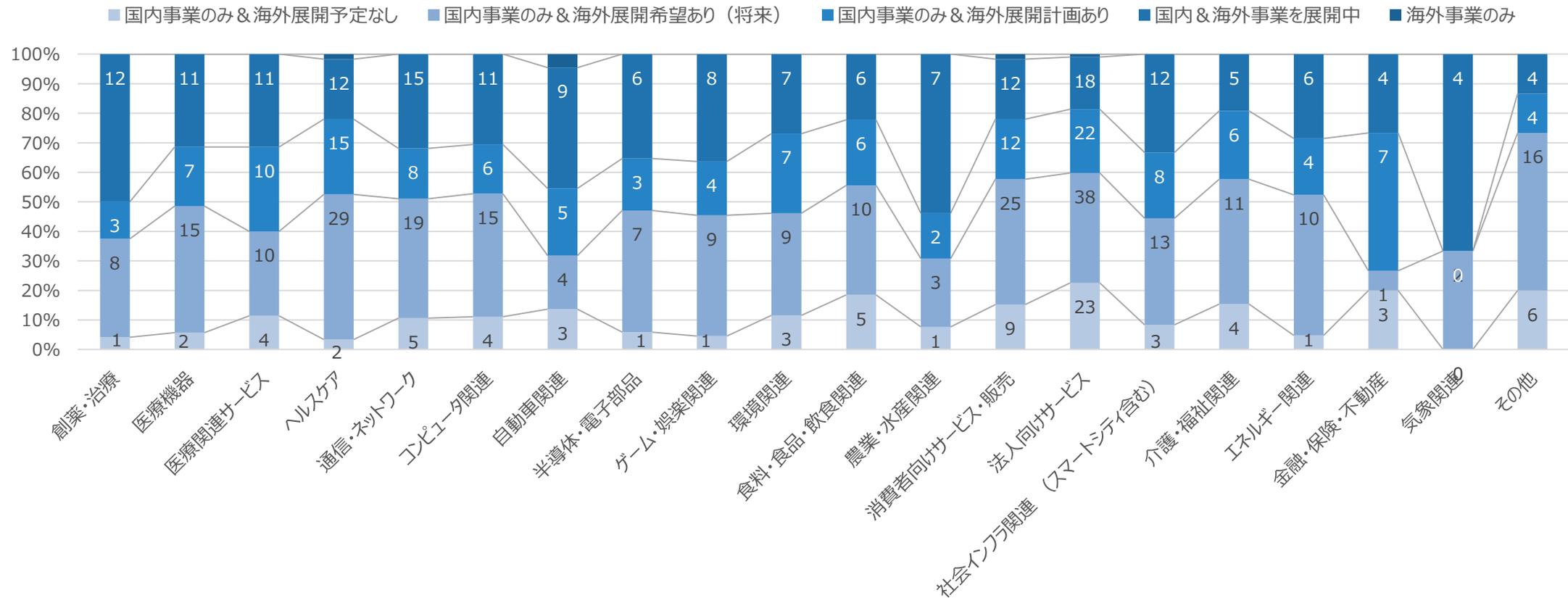
【事業展開状況 X 核となる技術・サービス】 n=279、総回答数 642 (複数回答)



海外展開・グローバル志向：事業ドメイン別

- ▶ 「国内&海外を展開中」「海外のみ」の割合が多いのは「金融・保険・不動産」「農業・水産関連」「自動車関連」「創薬・治療」「医療関連」（あわせて40%以上）

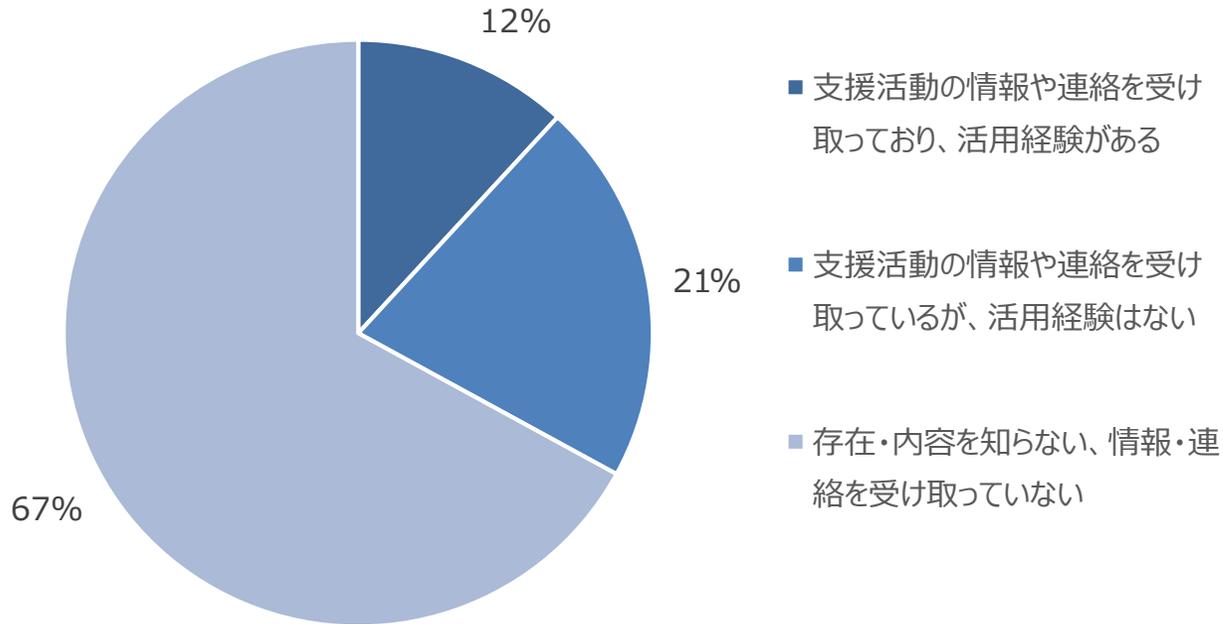
【事業展開状況 X 事業ドメイン】n=279、総回答数 658（複数回答）



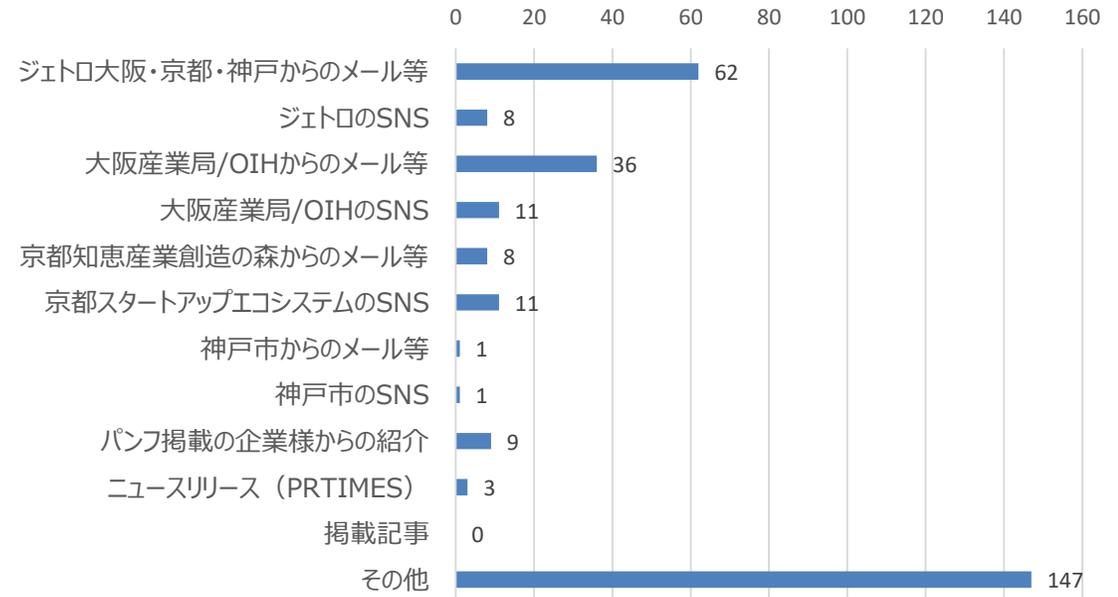
京阪神スタートアップエコシステム：認知度・利用度

- 「存在・内容を知らない、情報・連絡を受け取っていない」が圧倒的に多く67%
- 「連絡を受け取っているが、活用経験はない」が21%、「活用経験がある」は12%
- 参考：「本調査の認知経路」はジェトロや本調査協力機関からのメール,SNSの他、「その他」でキーパーソンのFacebook等が非常に多い結果となった。

【認知度・利用度】 n=279:単一回答



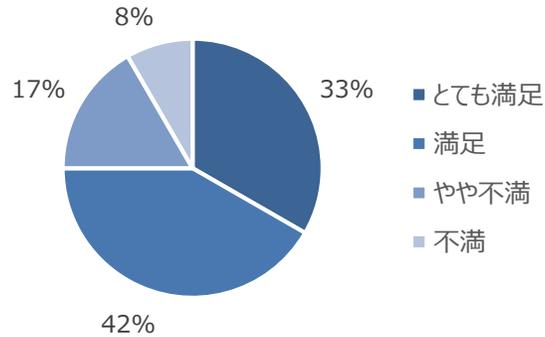
参考：【本調査の認知経路】 n=279:単一回答



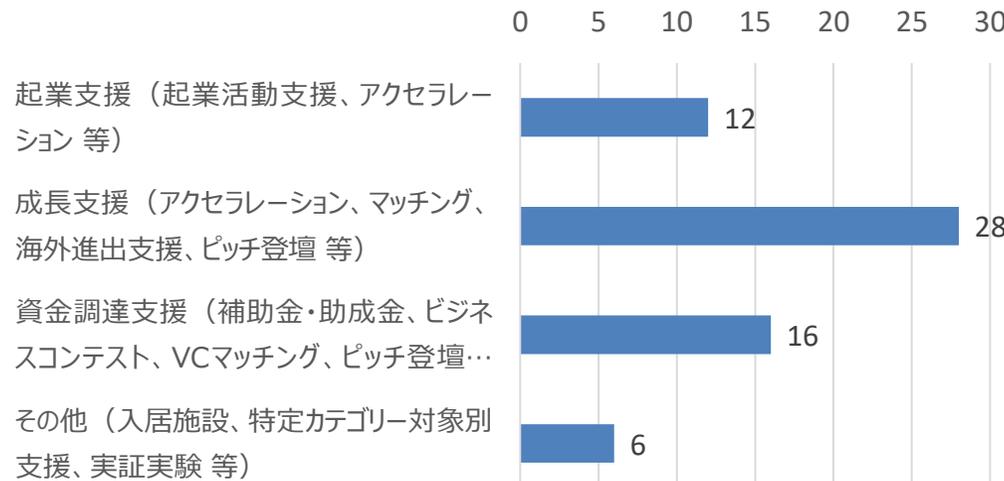
京阪神スタートアップエコシステム：利用満足度

- 利用経験があるのは33社で、「成長支援」が最も多く、「資金調達支援」「起業支援」「その他」と続く。
- 母数は少ないが、利用された支援については、「とても満足」「満足」で66%-82%と高い満足度
- 不満のコメント：補助金・助成金の額が十分でない、50%補助や1年未満などの制約のため非常に使いにくく十分な成果を出しづらい、現在の入居施設は非常に良いが、期間が5年と制限されているため転居が必要 等

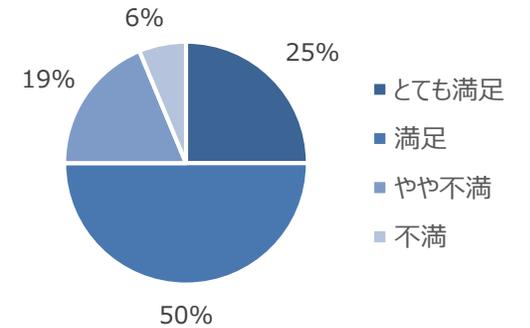
【満足度：起業支援】n=12:単一回答



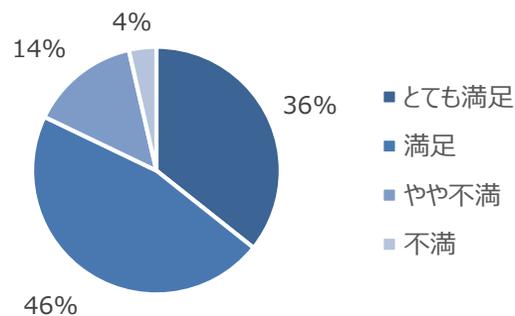
【活用した支援】n=33:複数回答



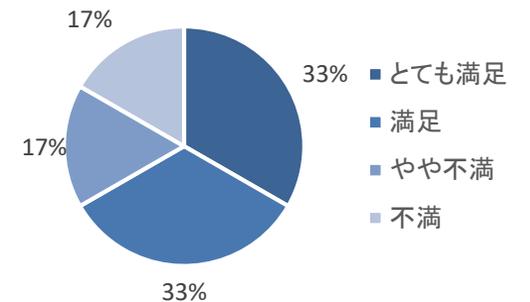
【満足度：資金調達支援】n=16:単一回答



【満足度：成長支援】n=12:単一回答



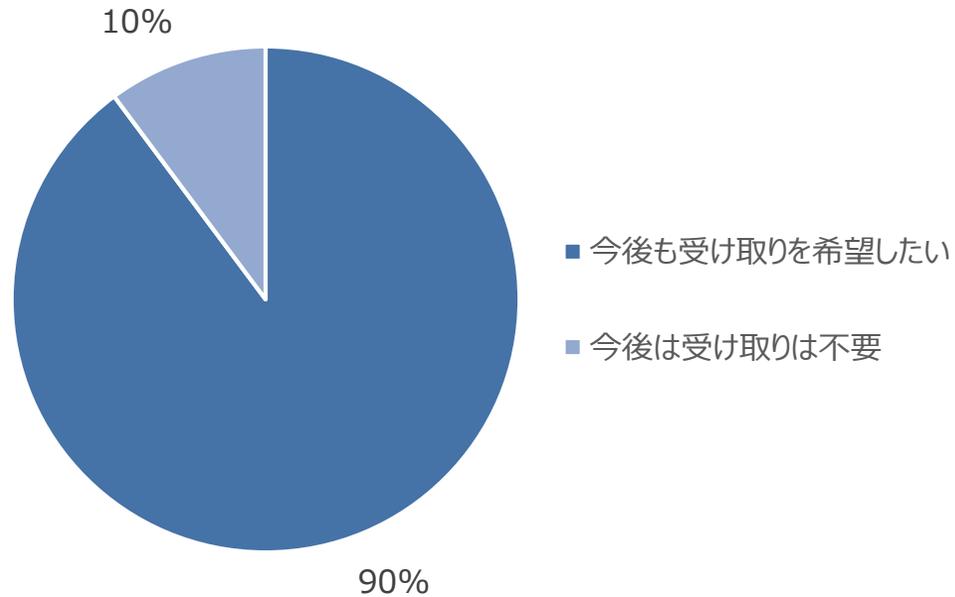
【満足度：その他支援】n=6:単一回答



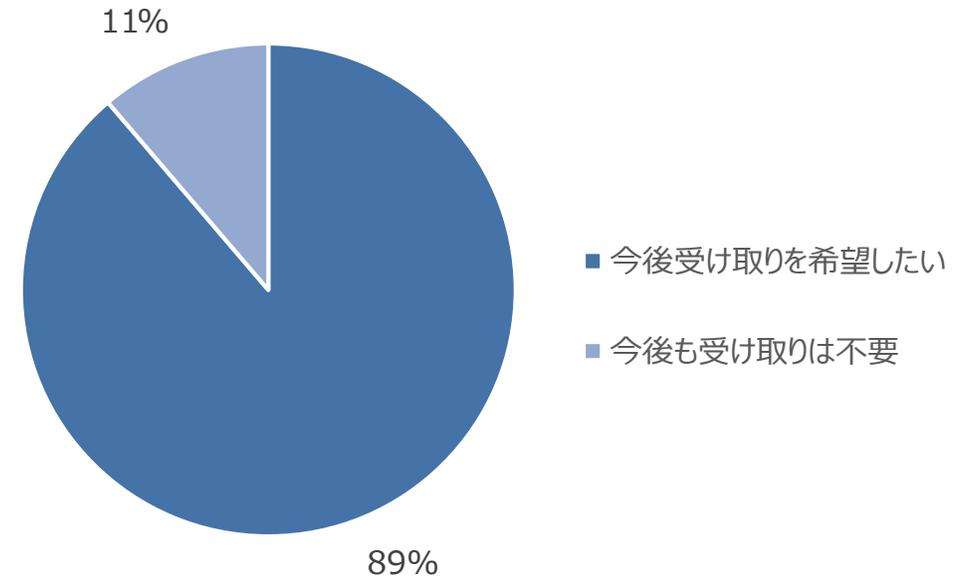
京阪神スタートアップエコシステム：利用希望

- 「情報や連絡は受け取っているが活用経験なし」方で「今後も受け取りを希望したい」に回答が90%
- 「存在を知らない、情報や連絡は受け取っていない」方で「今後受け取りを希望したい」に回答が89%

【情報や連絡は受け取っているが活用経験なし】 n=59:単一回答



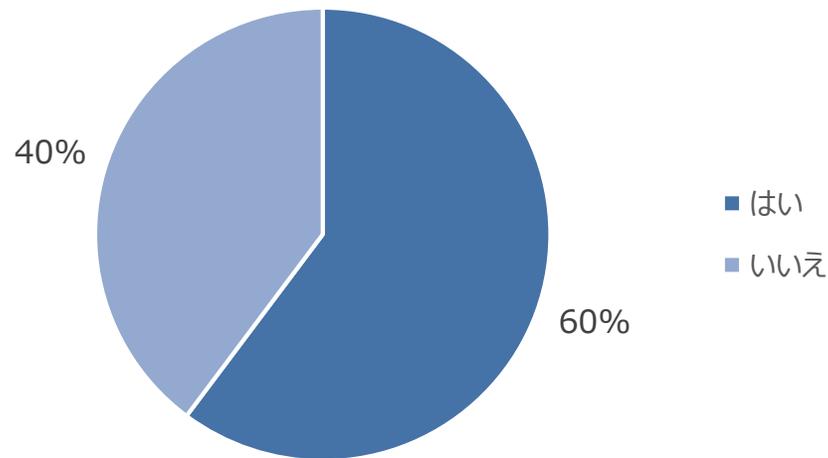
【存在を知らない、情報や連絡は受け取っていない】 n=187:単一回答



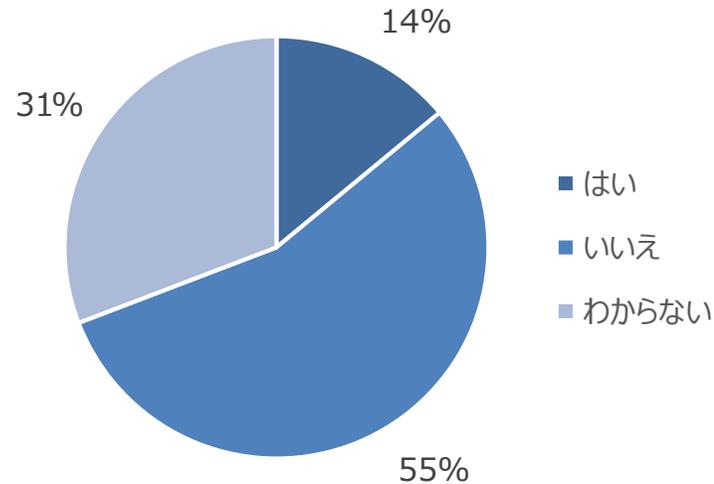
コミュニティ参加、京阪神を離れる可能性

- 60%が企業等のコミュニティに参加している。組織名：EO (Entrepreneurs' Organization) 各地、Plug and Play、秀吉会 等
- 不参加の理由：情報が無かった、有用なコミュニティを見つけられていない、時間がない、多忙、メリットを感じない、機会やタイミングが合わない、等
- 京阪神を離れる可能性については「いいえ」が半数を超え55%、次点は「わからない」で31%
- 「はい」の理由は「市場拡大のため」と約80%が回答
- 「その他」は、シリコンバレーに行きたい、製造に有利な拠点を見出す必要がある、行政が集中している東京エリアでの活動が中心、等

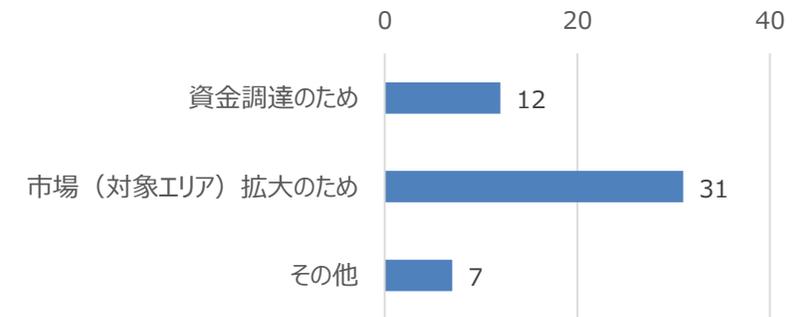
【コミュニティの参加有無】 n=279:単一回答



【京阪神を離れる可能性有無】 n=279:単一回答



【「はい」の理由】 n=39:複数回答



総括

【京阪神エリアのSUについて】

- **創業の経緯**は全体で「個人発」が最も多く、「大学研究成果発」「その他」と続くが、京都のみ「大学研究成果発」と「個人発」が同程度で最も多い。
- **現在のフェーズ**は全体で「アーリーステージ」が最も多い。特に京都は「アーリーステージ」の割合が大きい。
- **核となる技術・サービス**は「マーケティング」「AI」「コンサルティング」「システム開発」「コンピュータソフトウェア開発」「IoT」が多い。
- 大阪は「マーケティング」「コンサルティング」が特に多い。京都は「IoT」「コンピュータソフトウェア開発」「製造技術」「バイオテクノロジー」が多く、兵庫は「ICT」「AI」「コンサルティング」が多い。
- **事業ドメイン**は「法人向けサービス」が最多で以下「ヘルスケア」「消費者向けサービス・販売」「通信ネットワーク」、「コンピュータ関連」「医療機器」「医療関連サービス」と続く。
- 大阪は「法人向けサービス」「消費者向けサービス」が特に多い。京都は「創薬・治療」「ヘルスケア」「通信・ネットワーク」「社会インフラ関連」が多く、兵庫は「ヘルスケア」「医療関連サービス」が多い。
- **資金調達**は「地域の金融機関の融資」「補助金・助成金の活用」が大多数、回答者の半数近くが利用。以下「ベンチャーキャピタルからの出資」「公的機関の融資」「エンジェル投資家からの融資」と続く。
- **情報収集**は「同業または地域の経営者」「起業家コミュニティ」が最も活用されている。以下「社外の師と仰ぐ人物・メンター」「SNS」と続き、個人つながりが上位を占める。

【海外展開・グローバル志向について】

- 「海外予定なし」と「海外展開中」がほぼ同程度の約20%、残りの約60%が「計画中&希望あり」が京阪神の全体像。**81%が何らかの形で海外事業に関わる/関わりたいと回答**
- **「国内のみ展開中(海外未)」グループの課題**は、「人」の問題が最も多く、「モノ」「お金」が同程度、「情報」の順。「人」の問題は「海外事業ができる人材がいない」「人材を雇う資金がない」が同程度でトップ。「モノ」は「海外対応への開発・改善」、「お金」は「京阪神のVCが少ない」が、「情報」は「必要な海外情報（法規制等）がわからない」が最も多い。
- **「国内&海外事業展開中」グループの課題**も「人」の問題が最も多く、以下「情報」、「お金」の順。「人」の問題は「海外パートナーを求めている」が最も多く、「海外事業担当人材不足」が次点。「モノ」は「海外対応への更なる開発・改善」、「お金」は「京阪神のVCが少ない」、「情報」は「現地の市場情報が欲しい」が最も多い。
- **京阪神エリア別**では、大阪は「海外予定なし」+「海外展開希望あり」の比率が69%と高く、「海外事業を展開中」+「海外展開計画あり」の比率が3地域中最も低い。京都は「海外事業のみ」の3社を含め「海外事業を展開中」も最も多く、「海外展開計画あり」含む比率は50%を超えトップ。兵庫も「国内&海外事業を展開中」「国内事業のみ&海外展開計画あり」の比率は50%近くあり2番目に高い。大阪のグローバル志向が低く見えるのは、サービス系企業が突出して多いことが要因

総括(続き)

【海外展開・グローバル志向について】(続き)

- **起業経緯別**でみると、「大学研究成果発」「企業の研究・開発・アイデア発」は、「国内&海外事業を展開中」「国内事業のみ&海外展開計画あり」の比率が高い。
- **フェーズ別**では、ステージが後になるほど「海外展開希望あり」が減り、「海外事業を展開中」の割合が増えている。
- **核となる技術・サービス**では「海外を展開中」「海外のみ」の割合が多いのは「ロボティクス」「コンピュータハードウェア開発」「AR・VR」「アグリテック」「バイオテクノロジー」「ICT」
- **事業ドメイン別**では「海外を展開中」「海外のみ」の割合が多いのは「金融・保険・不動産」「農業・水産関連」「自動車関連」「創薬・治療」「医療関連」

【京阪神のSUエコシステムについて】

- 京阪神のSUエコシステムは「存在・内容を知らない」が約7割(67%)と高く、SUの間で認知&活用度は約3割(33%)
- 活用数は少ない(33)が、評価は「とても満足」「満足」が65-82%を占めている。各支援の利用者は複数を活用しており、実際にシステムを利用して資金調達等が成功している。
- 60%が何らかのコミュニティに参加。京阪神を離れる可能性は「いいえ」が過半数の55%、次点は「わからない」で31%。「はい(離れる)」の理由は「市場拡大のため」に約80%が回答

以上

THANK YOU!

本レポートに関するお問い合わせ先：

日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部

産業連携・対日投資推進課

〒541-0052 大阪府中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング29F

TEL：06-4705-8603

E-mail：OSD@jetro.go.jp

【免責条項】 禁無断転載 Copyright (C) 2022 JETRO. All rights reserved.

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

JETROでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、JETROおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。